

『上海万博』カウントダウンまで半年！ 進化し続けるダイナミズム大都市・上海

再世界が注目した北京五輪から1年余。中国は、北京から上海に大舞台を移し、来春開催予定の「2010年上海万博」(5月1日～10月31日)へむけ、会場工事や周辺整備を急ピッチに進めている。「上海は、年内はいたるところで工事中」という関係者の言葉通り、万博お出迎え体制づくりに余念がない。一足先に万博会場現場で、完成間際の中国館や工事中の日本館の進捗状況を見てきた。進化し続けるレトロとモダンのコラボ大都市・上海。テレビ塔、森ビル、豫園、新天地、新旧観光名所もエキサイティングだ。

再び、世界が中国に注目する。

万博史上、はじめてづくしが満載といわれる上海万博。過去最大規模(参加200カ国・機関以上)、途上国初開催など、話題に事欠かない。来春5月1日開幕、国家挙げての一大イベントへ向け、急ピッチでパビリオン建設が進んでいる。開催期間中は、内外から7000万人の入場者を予想(うち5パーセントの350万人を海外から、そのうち80万人強を日本人観光客と見込んでいる)、都市建設もこれまでにないほどのスピードで整備中だ。世界各国を迎えるために上海の玄関口・上海空港からリニアが走り、都心へのアクセスはぐぐぐんと便利になった。今回、リニア初体験で、浦東市内へ移動。リニアモーターカーがどんどん加速してゆく。表示が瞬間最高速度430キロに! 15分で到着だ。

東洋のバリといわれた外灘(バンド)、租界時代の石造りのビルが建ち並ぶエリアは、工事中で歩けず、オールドジャズの和平飯店も工事中。おあずけを喰らった気分だが、来春、万博開催までに、バージョンアップで化粧直し。先ほどギネスに申請された世界一高い展望台の商業ビル「上海環球金融中心展望台」、通称森ビル(492m)から万博会場の位置確認。1995年に東方明珠タワー(テレ

ビ塔・468m)が建った年、上海にきた時は、バンドから黄浦江をはさんでのエリアは、テレビ塔がそびえるだけだった。今は高層ビルのラッシュ。

「あの方向が、万博会場です」。案内人の指さきに、小さく見える赤い屋根が、中国館。そばに万博演芸センターのドーム。黄浦江沿いに川を挟んで8.3km、5.28平方kmの広大な会場だ。

現地に行く前に、上海万博展示センターにいき、会場の縮小模型や基本概況を聞く。学生ボランティアの孫琳さん(22)は、「大学を卒業した年に、世界各国の方々と万博でコミュニケーションがとれることを誇りに思います」。自然体の若い世代が中国を変えていく。一般市民や中国各地からの観光客も熱心に説明を聞いている。市内いたるところに、上海万博のマスコット「海宝」(ハイポー)クン。記念撮影をする人たちの行列。

工事中の会場では、いつれのパビリオンもまだ、全貌を現さない(※9月取材時)。日本館も骨組み工事中。この骨組みに、丸い大屋根(巨大テント風素材)が覆われ、「紫蚕島」(総工費130億円)と呼ばれる“生命体(p9参照)のように呼吸する”ドームが完成する。

日本は、日本館のほか、産業館、そして大阪館も出展される。大阪館は、壁面を飾るアーティストを公募中だ。

工事中の会場で、ひときわ存在感を放っているのが中国の伝統色「故宮赤(朱色)」の中国館だ。「東方の冠」をテーマに、中国古代の木造建築の要素が外観に現れている。「開催中は、整理券を配り、入場制限となるでしょう」(万博事務局 張 俊さん)

年末あたりから、そろり、そろりと順次にベールを脱ぎ、全貌をみせてくれるだろう万博会場。説明を聞いたたびに期待がひろがる。やっぱり、ヘルメットなしで、来年は会場に来たいものだ。(取材・撮影 高橋 英子)



上海万博の玄関口、上海空港でマスコットの「海宝(ハイポー)」クンがお出迎え



外観の全貌が。中国館



骨組み工事中の日本館



上海万博展示センター会場模型、ワイドスクリーンなどで万博の歴史がわかる

メモ

上海
中国人口13億2129万人。陸地面積960万平方km。中国は、14カ国と隣接し、8カ国と海を隔てて向かい合っている。中国総面積の0.06%、6340平方km。総人口の1%(常住人口1800万人)を占めるのが上海。中国最大の経済中心都市でありながら、重要な海港都市。

上海万博

世界200カ国と国際組織(9月現在239の国・国際機関が参加)の参加を招き、7000万人の来場者(1日当たり平均約40万人、ピーク時78万人、国際博覧会史上最大)を予想。主会場は、南浦大橋と盧浦大橋間の濱江地区に黄浦江に沿って設置。総面積は5.28平方km(愛・地球博の約2倍)。有料参観エリア(入場券が必要なエリア)は約3.28平方km。期間は2010年5月1日～10月31日までの184日間。テーマは「よりよい都市、より生活」。環境の取り組み(太陽エネルギー、エコカー、LED照明、ゴミ収集システム)も特徴。日本館の面積はアメリカ、イギリスと同規模の6000平方m。上海万博組織委員会の主任委員は王 岐山・中国副首相。

取材協力・問い合わせ/中国国家観光局 大阪駐在事務所

TEL: 06-6635-3280 FAX: 06-6635-3281

世界一高い展望台(森ビル)からダイナミック上海を俯瞰する。スカイウォーク100階へは、大人150元。ランドマークのテレビ塔もみえる